

2024年11月22日
チヨダウーテ株式会社

当社敷地内埋設物に係わる調査結果について

当社敷地内およびその周辺から発生した異臭の原因の特定、土壌、水、大気の安全性の確認、更には埋設されている石膏ボードの状況について確認を行う目的で三重県当局の指導のもと、環境コンサルティング会社と連携の上、調査を実施すると共に、外部専門家による特別調査委員会を設置し埋設に至った経緯等について調査を行いました。

その結果、異臭の原因は埋設されていた石膏ボードに起因する可能性が高いことが判明しました。尚、当該石膏ボードは当社千葉工場で発生した不適合品です。

近隣周辺住民の皆さま、近隣企業とその関係者の皆さまには多大なご迷惑・ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

かかる状況を踏まえ、現時点で判明している事実および今後の対応について下記の通りご報告いたします。

記

1. ボーリングなどの調査結果

- ・ 当該地において石膏ボードが概算で10,795立方メートル埋設されていることが判明しました。異臭の原因は、石膏ボード由来の硫化水素であると考えられます。硫化水素による異臭につきましては拡散防止策を講じました。尚、当社営業日に測定しております硫化水素濃度に異常値は観測されておりません。
- ・ 石膏ボード由来ではないものの、当該地の覆土中から極微量ながら、アスベストが検出されました。当局の指導のもと、飛散防止のための策を講じました。
- ・ その他、地中にフッ素、鉛等の物質が検出されました。フッ素に関しては地下水に含まれる基準値を超える値の漏出が確認されましたが、海水に含まれている水準を下回る値であり、重大な健康被害を引き起こさないと考えています。その他の物質は、調査の結果、当社敷地外へ流出していないことを確認しました。

2. 特別調査委員会の調査結果

- ・ 埋設した石膏ボードは、当社千葉工場で一時的保管されていた不適合品であり、2003年12月から2004年5月に四日市工場に運搬したことが判明しました。
- ・ 不適合品の四日市工場への運搬・埋設について、取締役会に上程・審議された形跡はありませんでした。同様に、監査役会において本件に係わる議論がされた形跡はありませんでした。

- ・ 調査結果を踏まえた原因分析として、以下提言がありました。
 - A) ガバナンス上の問題
 - B) 役職員のコンプライアンス意識の問題
 - C) 企業風土の問題
- ・ 尚、同様の事象は、他工場では発生していないことが確認されました。

3. 今後の対応

- ・ ボーリング調査等の結果を踏まえ、当局と連携しながら具体的な処理計画を策定の上、適切に対応して参ります。具体的なスケジュールについては、確定次第、改めてご案内申し上げます。
- ・ 尚、臭気濃度測定については、当社敷地および境界付近にて今後とも継続的に実施して参ります。
- ・ 再発防止策についても、特別調査委員会による提言を踏まえ、対応方針を策定して参ります。
- ・ 近隣住民の皆さま、近隣企業とその関係者の皆さまへの安全衛生の確保、並びに環境への配慮を最優先に考え、埋設されている石膏ボードの撤去を含め、適切な措置を迅速に進める所存です。
- ・ また、近隣住民の皆さま、近隣企業とその関係者の皆さまを対象に、説明会の開催を予定しております。詳細については別途ご案内いたします。
- ・ 今後の対応にあたり、四日市工場に於ける製品の生産・供給には影響ございません。

以上

【本件に係わるお問い合わせ先】

担当：危機対策本部 小片（おがた）

電話：059 - 363 - 5555（代表）